

IEEE1394 HARDDISK UNIT

HDユニット・ ユーザーズマニュアル

LHD-H200F8

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	6
付属品の確認	8
第1章 製品のご紹介	9
1.1 製品の特徴	9
1.2 使用環境について	11
1.3 各部の名称と機能	13
1.4 設置方向について	14
1.5 IEEE 1394 ケーブルについて	15
第2章 Macintosh での使用について	16
2.1 接続とフォーマット (Mac OS X 10.0.4 以降)	16
2.2 接続とフォーマット (Mac OS 9.2.2 以前)	19
2.3 補足説明	24
第3章 Windows Me , 98 Second Edition での使用について	27
3.1 IEEE1394 ドライバのアップデート	27
3.2 接続の手順	28
3.3 フォーマットについて	31
3.4 本製品を取り外す場合は	33
第4章 Windows XP , 2000 での使用について	35
4.1 接続の手順	35
4.2 フォーマットについて	40
4.3 本製品を取り外す場合は	41
第5章 補足事項	43
5.1 トラブルシューティング	43
5.2 Macintosh での起動ディスクの設定	45
ハードウェア仕様	47

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

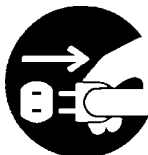
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

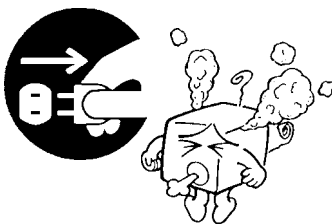


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

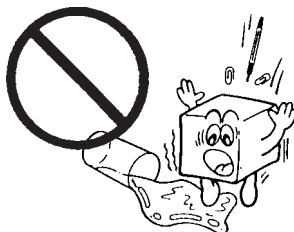
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源コードをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

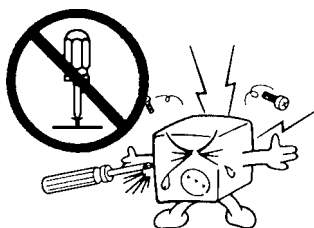
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



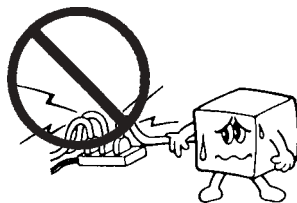
電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



⚠ 注意

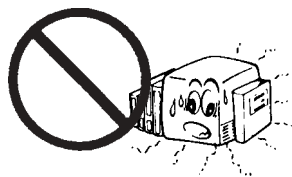
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



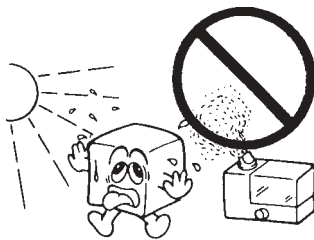
電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



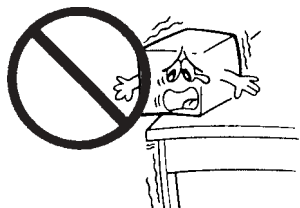
通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

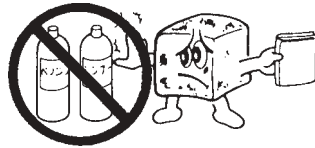


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。



パソコン及び周辺機器の廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。

消去に関しては、データが完全に消去されるよう、市販の専用ソフトウェアもしくは、専門サービス会社などを利用することをお勧めします。

また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ご使用前に必ずお読みください。

ロジックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジック株式会社 テクニカルサポート
TEL. 03-5326-3667 (祝祭日を除く月～金曜日)
FAX. 0265-74-1456 9:30～12:00、13:00～17:00)

1. 使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2. 著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3. 規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りです。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来たすような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りです。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5．免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6．その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

付属品の確認

HDユニット	1台
IEEE1394 ケーブル (Beta 9ピン -Beta 9ピン)	1本
IEEE1394 ケーブル (Bilingual 9ピン - 6ピン).....	1本
縦置き用スタンド	1セット
横置き用ゴム足	1シート
「LogitechWare」CD-ROM (B'sCrew FW を含む).....	1枚
HDユニット・ユーザーズマニュアル	本書
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
登録カード (B'sCrew用).....	1枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

第 1 章 製品のご紹介

1.1 製品の特徴

本製品は IEEE 1394b (FireWire 800) に対応した、外付け型の高速ハードディスクユニットです。本製品の主な特徴は以下の通りです。

IEEE1394b (FireWire 800) に対応

最大転送速度が 800Mbps (理論値) の高速転送を可能にした IEEE 1394b (FireWire 800) 規格に対応していますので、同規格に対応したパソコン (注) で使用すれば、ドライブの性能を最大限引き出すことができます。もちろん従来の IEEE1394 での接続にも対応していますので、汎用性が高く、多くのパソコンで使用可能です。

大容量・高速ハードディスクドライブを内蔵

記憶容量 200GB、ディスク回転数 7200rpm、内蔵キャッシュメモリ 8MB の高速ハードディスクドライブを採用しています。

放熱性に優れた堅牢なボディ

押し出し成型による筒型構造を採用し、外装パネルを一体型で構成していますので、ゆがみ、たわみや振動に強い堅牢なボディを実現。また、内部に設置した板バネでドライブをアルミボディに密着させる独自構造により、放熱性が向上し、安定したパフォーマンスを実現しています。電源内蔵タイプですので、AC アダプタが場所をとることなくすっきりと収納することができます。

注：本書作成時点では、IEEE1394b (FireWire 800) に対応したパソコンは、アップルコンピュータ社製 PowerMac G4 (FW800) モデル、PowerBook G4 (17") モデルのみとなっています。最新の情報につきましては弊社ホームページをご参照ください。

<http://www.logitech.co.jp/>



参考

IEEE 1394 はメーカーによって「Fire Wire」「i.LINK」等と呼ばれる場合がありますが、全て同じ物を指します。本書の中では「IEEE1394」と呼び方を統一して説明します。



ご注意

本製品ご使用の際は、以下の点にご注意ください。

- ・本製品はセルフパワー(電源コードからの電源供給)で動作します。バスパワー(IEEE1394ポートからの電源供給)では動作しません。
 - ・本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。
 - ・本製品からシステム起動を行うことはできません。(Mac OS 9.0.4以降の場合は起動ドライブの設定が可能です。)
 - ・IEEE1394に関するOSのアップデートやドライバのアップデートを弊社ホームページで公開しています。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
-

1 . 2 使用環境について

本製品をご使用になるには以下のような環境条件を満たしていなければなりません。

対応パソコンについて

本製品は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて IEEE 1394 ポートを搭載しているか、IEEE1394 インターフェイスボードを接続可能な機種に限定されます。機種に限定されます。また、IEEE1394b (FireWire 800) での転送を実現するためには、パソコン本体が IEEE 1394b に対応していなければなりません。

IEEE1394b (FireWire800) ポートに接続する場合

アップルコンピュータ社	PowerMac G4 (FW800) PowerBook G4 (17")
-------------	---

IEEE1394 (FireWire400) ポートに接続する場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	iMac Power Mac G4 Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue & White) iBook PowerBook G4 PowerBook (FireWire)



ご注意

パソコン側の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合には、別売の Bilingual 9 ピン - 4 ピンコネクタを持つ IEEE1394 ケーブル「CB-I94-011」または「CB-I94-006」が別途必要です。

対応 OS について

本製品は以下の OS で使用することができます。全て日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

IEEE1394b (FireWire800) ポートに接続する場合

アップルコンピュータ社
Mac OS X 10.2.3 以降

IEEE1394 (FireWire400) ポートに接続する場合

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社
Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 まで
(Mac OS 9 以降 + FireWire 2.3.3 以降を推奨)
Mac OS X 10.0.4 以降



ご注意

本製品を Windows 95 や Second Edition でない Windows 98 で使用することはできません。



参考

最新の対応状況につきましては弊社ホームページをご参照ください。

1 . 3 各部の名称と機能

電源表示ランプ（青）

本製品の電源が ON になると内部のランプ（青）が点灯します。

アクセス表示ランプ（赤）

本製品に対してアクセスが行われると内部のランプ（赤）が点灯します。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

IEEE1394b コネクタ（Bilingual 9 ピン）× 2

どちらか片方を、付属の IEEE1394 ケーブルでパソコン本体の IEEE1394b ポートまたは IEEE 1394 ポートと接続します。本製品は IEEE1394b、IEEE1394 のどちらの接続にも対応しています。

パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタは IEEE1394 機器を増設するとき使用します。

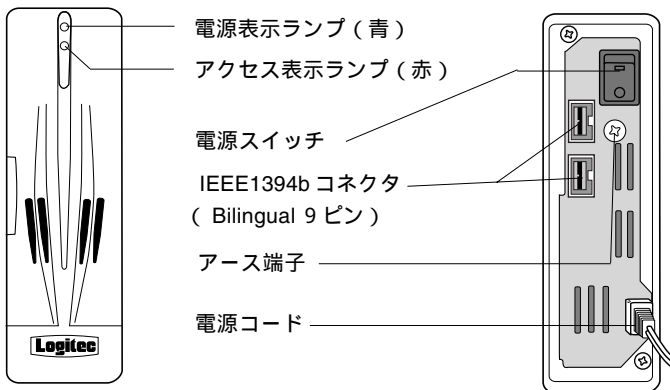
本製品のコネクタは Bilingual 9 ピンタイプとなっていますので、Beta 9 ピン、Bilingual 9 ピンいずれのタイプのものも接続できます。

アース端子

太い導線などで、パソコン本体のフレームグランド端子と接続してください。

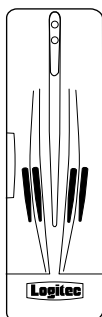
電源コード

AC100V のコンセントに接続します。

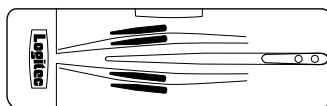


1.4 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも設置できますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。

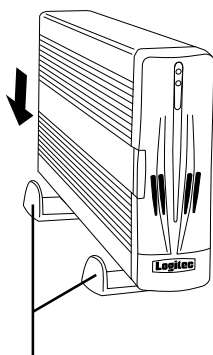


縦置きの場合

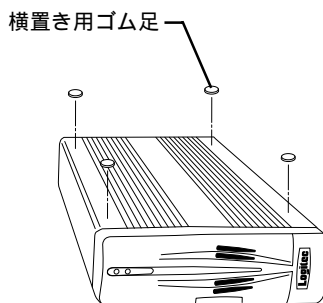


横置きの場合

縦置きの場合は付属の「縦置き用スタンド」をご使用ください。また、横置きの場合は付属の「横置き用ゴム足」を底面に貼付してください。



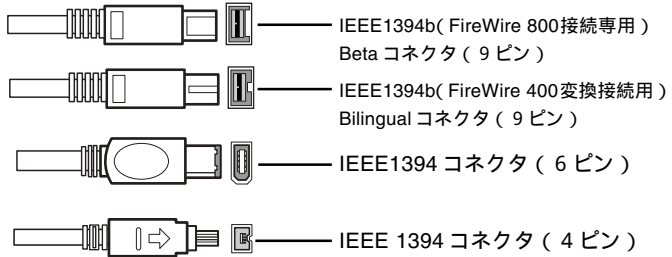
縦置き用スタンド



上図は底面を上にするため、通常の設置方向と逆になっています。ご注意ください。

1.5 IEEE 1394 ケーブルについて

IEEE1394 コネクタには以下の4種類の形があります。



パソコンが対応したケーブルを使用することにより、IEEE1394b 接続または、IEEE1394 接続で本製品を使用することができます。

IEEE1394b 接続で使用する場合

接続には本製品付属のIEEE1394 ケーブル (Beta 9 ピン -Beta 9 ピン) タイプのものをご使用ください。

本書作成時点では、IEEE1394b (FireWire 800) に対応したパソコンは、アップルコンピュータ社製 PowerMac G4 (FW800) モデル、PowerBook G4(17") モデルのみとなっています。最新の情報につきましては弊社ホームページをご参照ください。

IEEE1394 接続で使用する場合

この場合の最大転送速度は400Mbps に制限されます。接続には本製品付属のIEEE1394 ケーブル (Bilingual 9 ピン - 6 ピン) タイプのものをご使用ください。本製品側に Bilingual 9 ピンのコネクタを接続し、パソコン側のポートに6ピンのコネクタを接続します。

パソコン側のIEEE1394ポートが4ピンタイプのものしかない場合は、別売のIEEE1394 ケーブル (Bilingual 9 ピン - 4 ピン) を別途ご用意いただき、パソコン側のポートに4ピンのコネクタを接続する必要があります。

Bilingual9 ピン - 4 ピンタイプのIEEE1394 ケーブルは以下の型番で弊社より発売されています。

CB-I94-011

CB-I94-006

第2章

Macintosh®での使用について

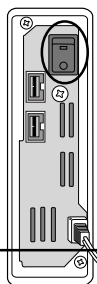
2.1 接続とフォーマット (Mac OS X 10.0.4 以降)

ここでは Mac OS X 10.0.4 以降の環境での本製品の接続とフォーマットの手順をご説明いたします。接続とフォーマット手順は IEEE1394b (FireWire 800) の場合も、従来の IEEE1394 (FireWire400) の場合も全く同じです。以下の手順をご参照ください。

パソコンの電源を ON にして、システムを起動させてください。

背面の電源コードを AC100V のコンセントに接続してください。接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

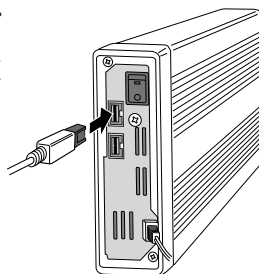
AC100V の
コンセントへ



ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

本製品に付属の IEEE1394 ケーブルの 9 ピンのコネクタを接続します。本製品背面には 9 ピンのコネクタが 2 つありますが、どちらを使用しても構いません。ここで使用しない 9 ピンのコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用できます。

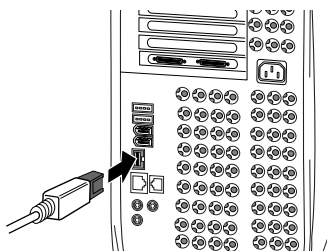


Point

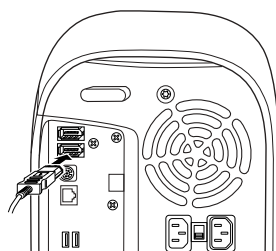
ポイント

本製品には Beta 9 ピン - Beta 9 ピンタイプのもと、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルを付属しています。1394b (FireWire800) に対応したパソコンと接続する場合には、Beta 9 ピン - Beta 9 ピンのケーブルを、従来の IEEE1394 接続でご使用の場合は Bilingual 9 ピン - 6 ピンのケーブルをご使用ください。

最後に IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。



9ピンのポートに接続
する場合の例



6ピンのポートに接続
する場合の例

2

本製品を接続すると自動的に認識され、以下の「ディスクの初期化」ウィンドウが表示されます。必要に応じて設定などを行ってください。

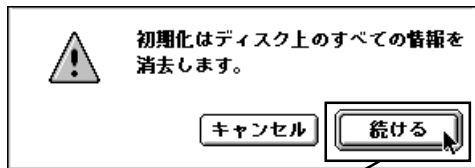
ボリュームに名前を付けたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(次ページのポイント参照。)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

以下の警告ダイアログが表示されます。



「続ける」をクリック

フォーマットが開始されます。終了すると新しいハードディスクがデスクトップ上にマウントされます。以上でドライバのインストールとハードディスクのフォーマットは終了です。次回からは、本製品を接続していただくだけで使用可能となります。

Point

ポイント

- ・フォーマット形式は「Mac OS拡張」を推奨します。「Mac OS標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
 - ・本製品を接続した際に、フォーマットのダイアログに、「Mac OS」のフォーマット形式と「DOS」のフォーマット形式が表示されるのは、本製品が未フォーマットの状態にある場合のみです。一度フォーマットを行うと、「Mac OS」のフォーマット形式、もしくは「DOS」のフォーマット形式のどちらかしか表示されなくなります。そのため、他方へのフォーマット形式の変更はできなくなりますのでご注意ください。
 - ・再フォーマットを行う場合は、メニューバーの「特別」-「ディスクの初期化」をクリックしてください。
-

2.2 接続とフォーマット (Mac OS 9.2.2 以前)

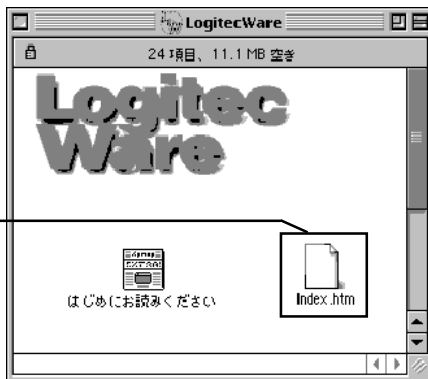
ここでは本製品のドライバをインストールして、本製品を接続し、フォーマットを行うまでの手順を説明します。ドライバのインストールは必ず本製品を接続していない状態で行ってください。

本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

CD-ROMのウィンドウが開きますので、「Index.htm」と書かれたアイコンをダブルクリックして開いてください。

このアイコンをダブルクリック

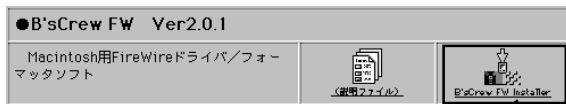


以下のようなウィンドウがブラウザで表示されます。ここで、左のメニューから、「ソフトウェア」をクリックしてください。



2.2 接続とフォーマット (Mac OS 9.2.2 以前)

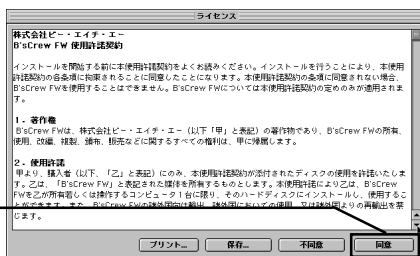
メニューの右側に収録されたソフトウェアの一覧が表示されます。これをスクロールして、「B's Crew FW」を探し、「B's Crew FW Installer」と書かれた部分をクリックしてください。



この部分をクリック

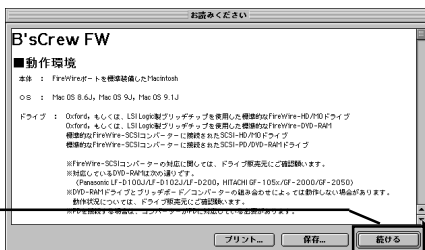
使用許諾等が表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック



注意事項等が表示されます。

内容を確認して「続ける」をクリック

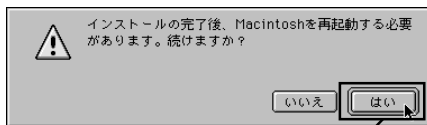


右のウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック

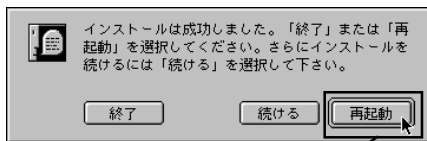


インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。



他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「はい」をクリック

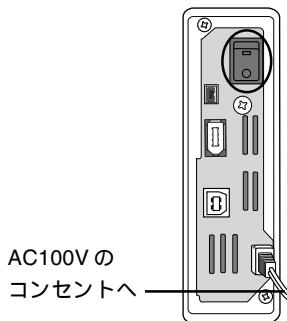
必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。



「再起動」をクリック

システムが再起動したら本製品の接続を行います。

背面の電源コードを AC100V のコンセントに接続してください。接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

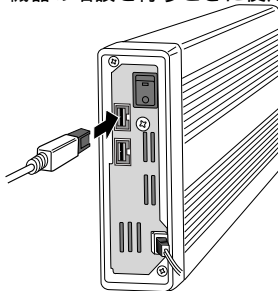


ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

本製品に付属の IEEE1394 ケーブル (Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのもの) の 9 ピンのコネクタを接続します。本製品背面には 9 ピンのコネクタが 2 つありますが、どちらを使用しても構いません。

ここで使用しない 9 ピンのコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用できます。



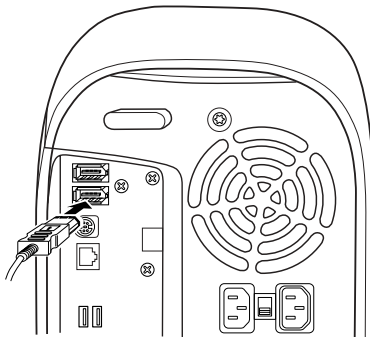
2

Point

ポイント

本製品には Beta 9 ピン - Beta 9 ピンタイプのもの、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルを付属していますが、Mac OS 9.2.2 以前の環境では、IEEE1394b 接続には対応しておりませんので、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルをご使用ください。

最後に IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。



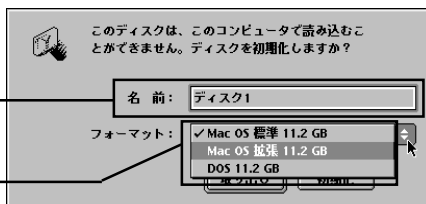
正常に接続されると、本製品が認識されます。本製品は出荷時フォーマットされていないため、右のようなウィンドウが開きます。ここからフォーマットを行います。



必要に応じてハードディスクの「名前」を入力し、フォーマット形式を選択してください。

ハードディスクに名前をつけたい場合はここに入力

フォーマット形式はこのドロップダウンメニューを開いて選択



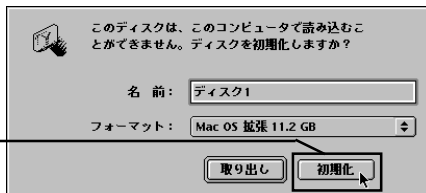
Point

ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

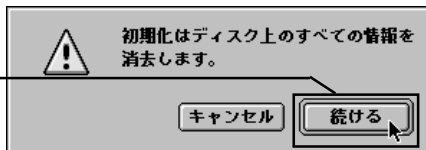
設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

「初期化」ボタンをクリック



警告ダイアログが表示されます。

「続ける」ボタンをクリック



フォーマットが開始されます。終了すると、新しいハードディスクがデスクトップ上にマウントされます。

以上で作業はすべて終了です。CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しおいてください。次回からは、本製品を接続しただけでハードディスクが使用可能な状態になります。

2 . 3 補足説明

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ずアンマウントを行ってください。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・ 本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・ 本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから、「片付ける」を選択する (Mac OS 9.2.2 以前)、「取り出し」を選択する (Mac OS X 10.0.4 以降)。
- ・ 本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す (Mac OS 9.2.2 以前)、アップルキー + 「E」キーを押す (Mac OS X 10.0.4 以降)。

いずれの方法でアンマウントした場合も、デスクトップ上から本製品のアイコンが消えます。これを確認してから、本製品を取り外してください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

本製品を再フォーマットしたい場合は

何かの原因で本製品を再フォーマットしたい場合は、Option キーを押しながら、本製品を接続してください。

この操作を行うと、本製品を初めて接続したときと同じように、フォーマットのダイアログが表示されます。



ここから、4.1 節または、4.2 節の手順と同様にフォーマットを行ってください。



重要なお注意

再フォーマットを行うと、本製品に保存されたデータはすべて失われます。重要なデータを消してしまわないように十分ご注意ください。必要なデータはあらかじめバックアップしてからフォーマットを行ってください。

Windows とのデータ交換について

本製品を DOS (FAT32) 形式でフォーマットすると、Windows 環境でも Macintosh 環境でもアクセスすることができます。デジタルビデオ (DV) の動画ファイルなどのように巨大なファイルを異なる環境に移動したいときに便利です。ただし、これを行うときには以下の点に注意してください。

DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh でアクセスするには Macintosh 標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。

Macintosh 環境に接続したハードディスクを Windows 環境に再接続して、スキャンディスク (Windows 標準の検査ユーティリティ) を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」すると Macintosh 環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。

Windows / Macintosh 間でのデータ交換は、あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。MacOS 本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

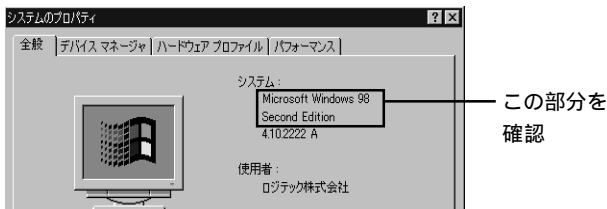
第3章

Windows® Me , 98

Second Edition での使用について

本章では Windows Me および Windows 98 Second Edition で本製品の接続、フォーマットなどを行う手順を説明します。

ご使用の OS が Windows 98 の場合、Second Edition でないと本製品を使用することはできません。ご使用の Windows 98 が Second Edition かどうかを確認したい場合は、「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。



上記の部分に「Windows 98 Second Edition」と記載されていれば、本製品を使用することができます。

3 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitechWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTML」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : %DRIVERS%\MICROSOFT\1394

説明ファイル : README.HTML (README)

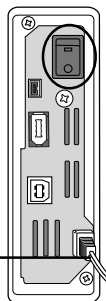
実行ファイル : 242975JPN8.EXE (242975JPN8)

3 . 2 接続の手順

本書作成時点では Windows 環境では、IEEE 1394b (FireWire800) はサポートされていません。従来の IEEE 1394 接続での対応となり、最大転送速度は 400Mbps までに制限されます。

本製品のアース端子とパソコンのフレームグランド端子を太い銅線などで接続し、パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

背面の電源コードを AC100V のコンセントに接続してください。
接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。



AC100V の
コンセントへ

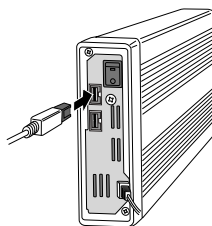
3

ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

本製品に付属の IEEE1394 ケーブル (Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプの物) の 9 ピンのコネクタを接続します。本製品背面には 9 ピンのコネクタが 2 つありますが、どちらを使用しても構いません。

ここで使用しない 9 ピンのコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用できます。

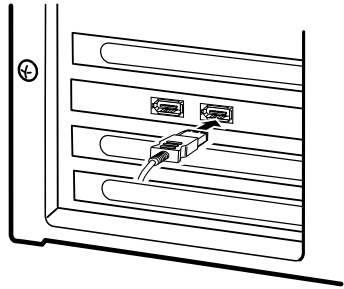


Point

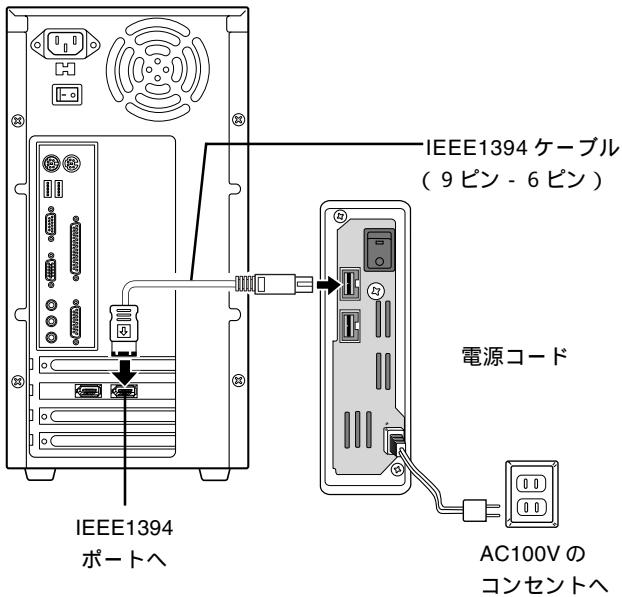
ポイント

- ・ 本製品には Beta 9 ピン - Bata 9 ピンタイプのもの、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルを付属していますが、Windows 環境では、IEEE1394b (FireWire800) 接続には対応しておりませんので、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルをご使用ください。
- ・ 接続先のパソコンに 4 ピンのポートしかない場合は、Bilingual 9 ピン - 4 ピンのケーブルを別途ご用意ください。ケーブルについては「 1 . 5 IEEE 1394 ケーブルについて 」をご参照ください。

IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE 1394 ポートに接続します。



以上で接続は終了です。下の接続図を参考にして、全体の接続が間違っていないことを確認してください。



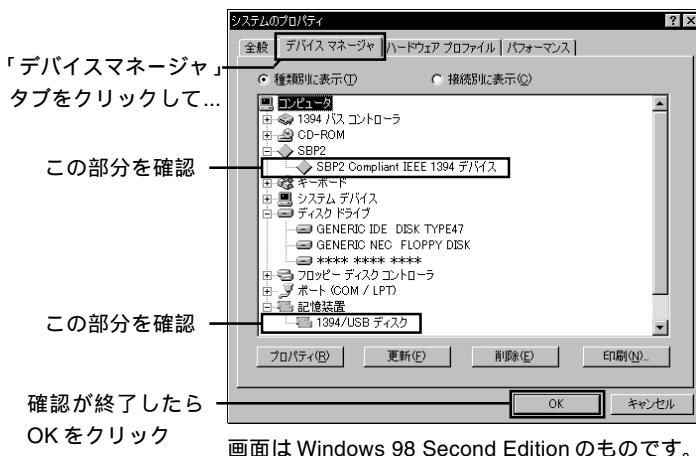
接続結果の確認

接続が完了した後で、「マイコンピュータ」を開いても新しいハードディスクのアイコンは登録されていません。これは本製品のフォーマットが終了していないためです。

この状態で接続結果を確認したい場合は、「コントロールパネル」「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「SBP2」をダブルクリックして開き、「SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス」が表示されることを確認します。

「記憶装置」をダブルクリックして開き、「1394/USB ディスク」または「IEEE1394 ディスク」が表示されることを確認します。



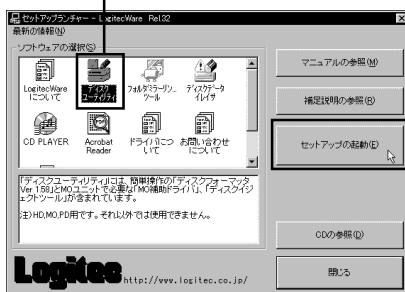
これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にフォーマッタをインストールして、本製品のフォーマットを行いますので、OK ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

3.3 フォーマットについて

Windows Me, 98 Second Edition の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。

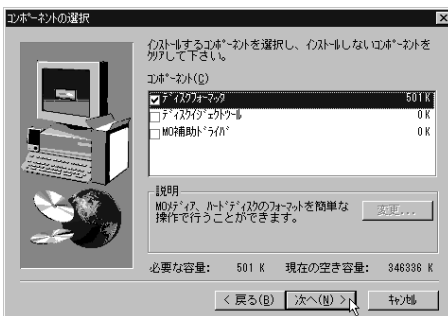


2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point

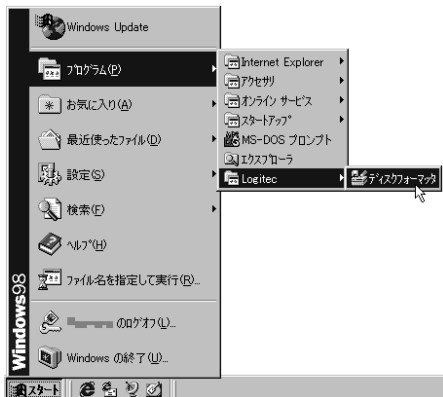
ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクプロジェクトツール」と「MO補助ドライバ」が含まれていますが、本製品を使用する上で必要なのは「ディスクフォーマッタ」のみです。(他のユーティリティをインストールしても特に害はありません。)



3.3 フォーマットについて

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。



また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「ハードディスクのフォーマット」をご参照ください。



ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

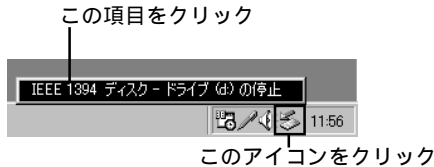
3 . 4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

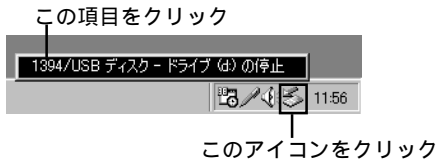
本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「IEEE 1394 ディスク - ドライブ(d:)の停止」、または「1394/USB ディスク - ドライブ(d:)の停止」を選択してください。

Windows Me の場合



Windows 98 Second Edition の場合



Point

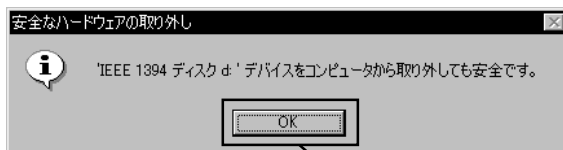
ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。また、本製品がフォーマットされていない場合は、ドライブ名の文字(「d」の部分)が表示されません。

3.4 本製品を取り外す場合は

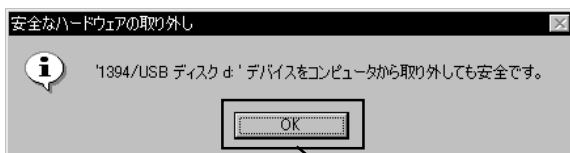
「IEEE 1394 ディスク d: デバイスをコンピュータから取り外しても安全です」または「1394/USB ディスク d: デバイスをコンピュータから取り外しても安全です」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の場合



OK ボタンをクリック

Windows 98 Second Edition の場合



OK ボタンをクリック

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてから、電源コード、または AC アダプタをコンセントから外してください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第4章

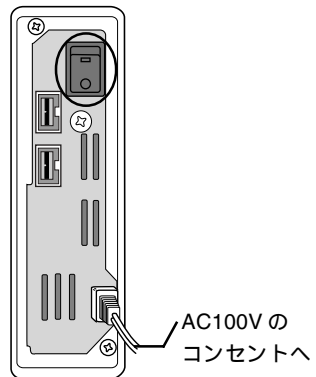
Windows® XP ,2000での 使用について

4 . 1 接続の手順

Windows XP、2000の場合、本製品を使用するためのソフトウェアはすべて標準添付されています。そのため、本製品を接続するとすぐに本製品が自動的に認識されます。

本製品のアース端子とパソコンのフレームグランド端子を太い銅線などで接続してください。

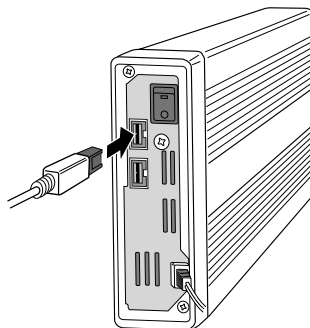
パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログオンしてください。



ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

本製品に付属の IEEE1394 ケーブル (Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのもの) の 9 ピンのコネクタを接続します。本製品背面には 9 ピンのコネクタが 2 つありますが、どちらを使用しても構いません。
ここで使用しない 9 ピンのコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用できます。

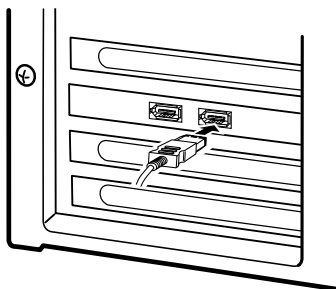


Point

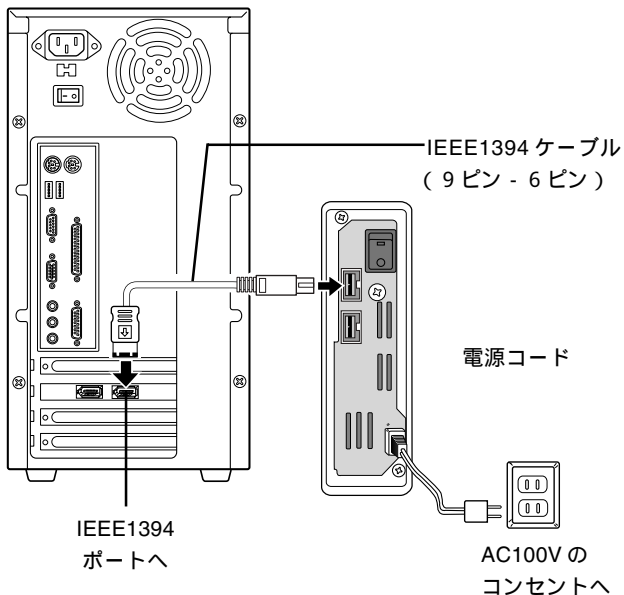
ポイント

- ・ 本製品には Beta 9 ピン - Bata 9 ピンタイプのもので、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルを付属していますが、Windows 環境では、IEEE1394b(FireWire800)接続には対応しておりませんので、Bilingual 9 ピン - 6 ピンタイプのケーブルをご使用ください。
- ・ 接続先のパソコンに 4 ピンのポートしかない場合は、Bilingual 9 ピン - 4 ピンのケーブルを別途ご用意ください。ケーブルについては「1.5 IEEE 1394 ケーブルについて」をご参照ください。

IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE 1394 ポートに接続します。



以上で接続は終了です。下の接続図を参考にして、全体の接続が間違っていないことを確認してください。



接続結果の確認

接続が完了した後で、「マイコンピュータ」を開いても新しいハードディスクのアイコンは登録されていません。これは本製品のフォーマットが終了していないためです。

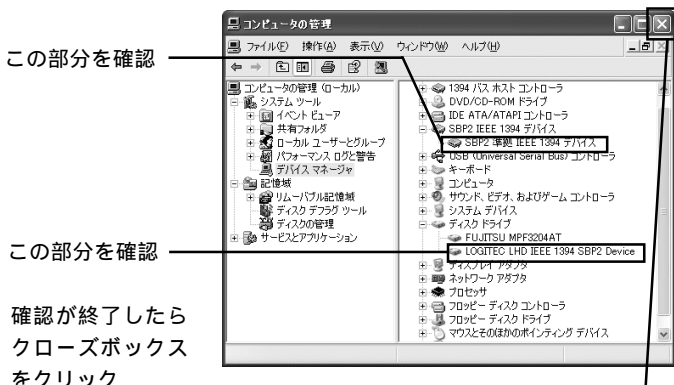
接続結果は以下の手順で確認してください。

Windows XP の場合

「コントロールパネル」から「パフォーマンスとメンテナンス」を選択し、「システム」を起動して「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「SBP2 IEEE 1394 デバイス」をダブルクリックして開き、「SBP2 準拠 IEEE 1394 デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き「***** IEEE 1394 SBP2 Device」と最後が IEEE 1394 SBP2 Device で終わる項目が表示されることを確認します。

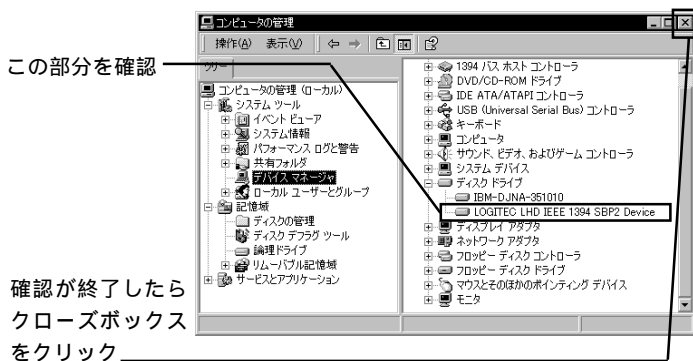


このデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次に本製品のフォーマットを行いますので、クローズボックスボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

Windows 2000 の場合

「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「***** **
IEEE 1394 SBP2 Device」と最後が IEEE 1394 SBP2 Device で終わる項目が表示されることを確認します。



このデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次に本製品のフォーマットを行いますので、クローズボックスボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

4.2 フォーマットについて

Windows XP, 2000 の場合、フォーマットは Windows 標準のユーティリティ「ディスクの管理」から行います。「ディスクの管理」でフォーマットを行う概略の手順は以下の通りです。

Point

ポイント

本製品付属 CD-ROM に保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。(下記のファイルをダブルクリックすると、インターネット・エクスプローラなどで内容を表示することができます。)

ファイル名: ¥Docs¥Hdfmt2k.htm (Windows 2000)

ファイル名: ¥Docs¥Hdfmtxp.htm (Windows XP)

管理者権限を持つグループ(例えば「Administrators グループ」)のメンバーとしてログオンします。

デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」のウィンドウが表示されたら、コンソールツリー上で「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックします。

Point

ポイント

ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

「ディスクの管理」が表示されたら、「不明」と書かれているディスクを右クリックして、表示されるメニューから

「署名」を実行してください。(Windows 2000 の場合)

「ディスクの初期化」を実行してください。(Windows XP の場合)

Windows 2000 では、署名したディスクの「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、「パーティションの作成」を選択してください。

Windows XP では、初期化したディスクの「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、「新しいパーティション」を選択してください。

「パーティションの作成ウィザード」(Windows 2000 の場合)または、「新しいパーティションウィザード」(Windows XP の場合)が起動したら、表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

Point

ポイント

「パーティションの作成ウィザード」の中で、作成するパーティションを「プライマリパーティション」にするか、「拡張パーティション」にするかを選択するステップがあります。

本製品では必ず「拡張パーティション」を選択し、拡張パーティションの中に論理ドライブを作成してください。

4 . 3 本製品を取り外す場合は

4

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

Windows 2000 では、本製品を接続した状態で、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「**** IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:) を停止します」を選択してください。

2. この項目をクリック



1. このアイコンをクリック

4.3 本製品を取り外す場合は

Windows XP の場合は、「**** ** IEEE 1394 SBP2 Device を安全に取り出します」と表示されます。

2. この項目をクリック



1. このアイコンをクリック

Point

ポイント

- **** ** には、本製品採用のハードディスクの型番が入ります。型番は容量などによって異なります。
- Windows 2000 で表示される「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。また、本製品がフォーマットされていない場合は、ドライブ名の文字（「E」の部分）が表示されません。

Windows 2000 では「'**** ** IEEE 1394 SBP2 Device' は安全に取り外すことができます」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

Windows XP では「**** ** IEEE 1394 SBP2 Device を安全に取り出します」というメッセージが表示されたら取り外し可能となります。（このメッセージは一定時間が経過すると自動的に消えます。）

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてから電源コードまたは AC アダプタをコンセントから外してください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードまたはACアダプタの接続、接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などはありませんか。

IEEE1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？

本製品を IEEE1394 ハブ経由で接続している場合は、パソコン (IEEE1394 インターフェイスボード) の IEEE1394 ポートに直接接続して試してみてください。

多くの IEEE1394 機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を超えていないかどうか確認してください。また、接続にループが発生していないかどうかを確認してください

本製品からシステム起動ができない。

Windows 環境では、IEEE1394 は通常 BIOS のブートアップシーケンスに含まれていないため、IEEE1394 で接続された記憶装置からのシステム起動はできません。

Mac OS 9.0.4以降の環境で本製品をご使用の場合は、この後の「5.2 Macintosh での起動ディスクの設定」をご参照の上、必要な設定を行ってください。

Windows XP、2000で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)としてログインしていなければなりません。

Macintosh 環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

本製品のMacintosh用ドライバに

関するお問い合わせについて

本製品付属のMacintosh用ドライバ「B'sCrew FW Driver」に関するお問い合わせは、開発元である株式会社ビー・エイチ・エーで承っています。

お問い合わせ先は以下の通りです。お問い合わせの際には必ずB'sCrew FW Driverのシリアルナンバーをご用意ください。

「株式会社ビー・エイチ・エー サポートセンター」

TEL：06-6378-3334 FAX：06-6378-3336

(月～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00

祝祭日および夏期 / 年末年始特定休業日を除く)

5 . 2 Macintosh での起動ディスクの設定

Macintosh 環境の場合、本製品を起動ディスクとして使用することができます。ここではその設定方法についてご説明いたします。(ただし、ご使用の OS が Mac OS 8.6 の場合は OS の仕様により起動ディスクの設定は行えません。)

以下のモデルではパソコン側の仕様により起動ディスクに設定することができません。

- Power Mac G4 (PCI Graphics)
- Power Macintosh G3 Blue and White

以下のモデルで起動ディスクとして使用する場合、パソコン本体のファームウェアのバージョンを「2.4」以上にする必要があります。詳細は、アップルコンピュータ社の Web サイトをご参照ください。

- iMac DV
- Power Mac G4 (AGP Graphics)
- PowerBook (FireWire)

設定方法

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 までの場合

アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し「起動ディスク」を選択してください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

Mac OS X の場合

アップルメニューから「システム環境設定」を選択し「起動ディスク」をダブルクリックして開いてください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。



ご注意

- ・インストールの際は必ずハードディスクをMac OS 拡張にてフォーマットしてください。本製品の出荷時フォーマットである「DOS」フォーマットや「Mac OS 標準」フォーマットではシステムが正しく起動しない場合があります。これらのフォーマットでの使用はサポート対象外とさせていただきます。
 - ・本製品を起動ディスクに設定する場合は、必ず Mac OS 9.x または Mac OS X のインストール CD-ROM から本製品へシステムをインストールしてください。他の起動ディスクからシステムのコピーを行った場合、本製品を起動ディスクとしてご使用になれません。
 - ・システム起動中に絶対にIEEE1394ケーブルまたは電源コードを抜かないでください。
 - ・本製品からのシステム起動中はスリープ機能には対応いたしません。
-

ハードウェア仕様

機種名	LHD - H200F8		
記憶容量 *1	約 200 GB		
平均シークタイム	9.4 ms		
キャッシュメモリ	8 MB		
ディスク回転数	7,200rpm		
物理ヘッド数	2		
インターフェース	FireWire 800 (IEEE1394b) IEEE1394-1995 P1394a (FireWire 400)		
コネクタ	IEEE1394b コネクタ (Bilingual 9 ピン × 2)		
最大データ転送速度 *2	800Mbps : FireWire 800 (IEEE1394b) 400Mbps : IEEE1394-1995 P1394a		
環境条件 *3	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80%
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	20 % ~ 80%
入力電圧	AC 100 V ± 10 % 50 / 60Hz		
消費電力 (定格)	19.0 W		
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	45 × 123 × 261mm *4		
質量	1.5kg		

*1 1GB=1,000,000,000 バイトとして計算しています。使用 OS やフォーマットの状態によって、表示される値が異なる場合があります。

*2 理論値

*3 ただし、結露なきこと

*4 縦置き時。突起部 / スタンド除く。

Memo

保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

東日本地域にお住まいの方：

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック(株)伊那サービスセンター(3番受入窓口)

西日本地域にお住まいの方：

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-4-10 四ツ橋パークビル 3F

ロジテック(株)大阪サービスセンター

弊社製モニター、パソコン本体、NAS/RAID、HDビデオレコーダー製品に限り「大阪サービスセンター」では受け付けておりません。ご注意ください。

保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア(なるべく詳しく)

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXまたはお手紙にてお願い致します。その際、上記の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意： 電子メールによるサポートは行っておりません。文書で問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号/FAX番号をご記入ください。

お問い合わせ先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3667 (東京) (祝祭日を除く月～金曜日)

FAX. 0265-74-1456 (長野) 9:30～12:00、13:00～17:00)

間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitech HDユニット・ユーザーズマニュアル

2003年 4月初版

LHD-HF8 V01

製造元：ロジテック株式会社

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形 1 - 1 2 - 1 4 日本生命浅草ビル

Logitech

<http://www.logitech.co.jp/>